

今、改めて臨地実習指導とは(基礎編)

2021年度 臨地実習指導研修会が開催されました。研修会の様子と参加者アンケート集計結果を報告いたします。

研修日程 : 令和4年3月6日(日)9:00~16:00

開催方法 : ZOOMミーティングによる遠隔実施

研修内容 : 実習指導における学習課題の明確化
(グループワーク・全体まとめ)
看護学実習の特徴を考慮した実習指導の展開(講義)

講義 : 授業としての看護学実習の特徴
講師 松田安弘(群馬県立県民健康科学大学)

主催者

教育活動委員長 嘉手苺英子(沖縄県立看護大学)

副委員長 山内豊明(放送大学)

委員 栗原幸子(沖縄県立看護大学) 服部美穂(人間環境大学)

前田ひとみ(熊本大学) 松田安弘(群馬県立県民健康科学大学)

水戸優子(神奈川県立医療福祉大学) 山口みのり(静岡県立大学)

研修会スケジュール

*グループワーク1 学習課題の明確化

*講義

*グループワーク2 教授活動の自己評価と課題の明確化

*全体共有 グループの課題共有

*課題解決に向けたヒント

*グループワーク3 解決した課題と残された課題の明確化

*全体まとめ グループ発表

研修会の様子

松田安弘先生による講義

看護学実習の定義

看護学実習とは、学生が既習の知識・技術を基に、クライアントと相互行為を展開し、看護目標達成に向かいつつ、そこに生じた看護現象を教材として、看護実践に必要な基礎的能力を修得するという学習目標達成を目指す授業である。

(舟島なをみ：看護学教育における授業展開、医学書院、173、2004。)



嘉手苺英子委員長・山内豊明副委員長

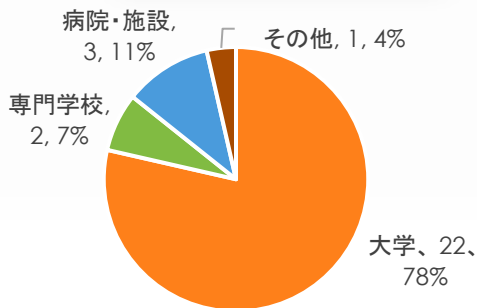


参加者のみなさまと記念撮影

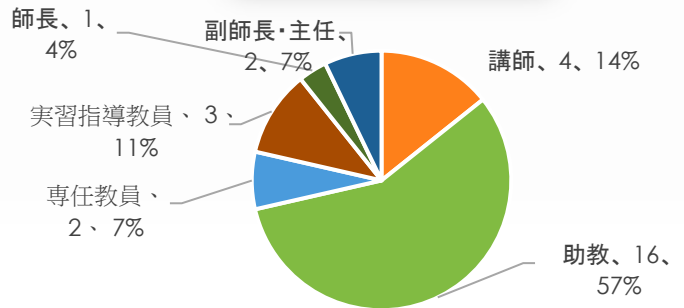


研修会参加者アンケート集計結果 参加者28名

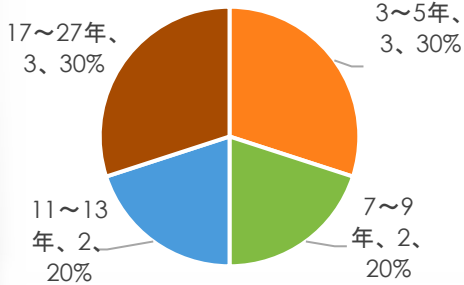
所属機関



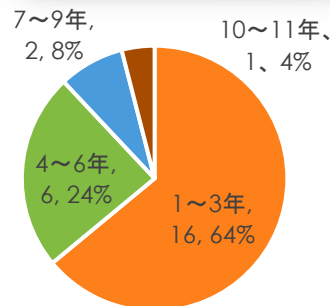
職位



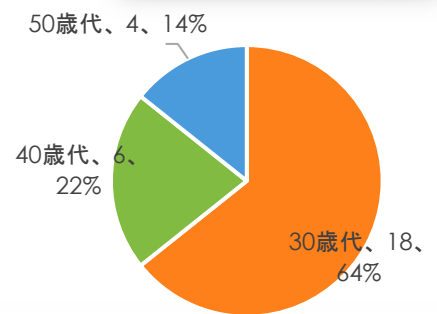
臨床経験年数



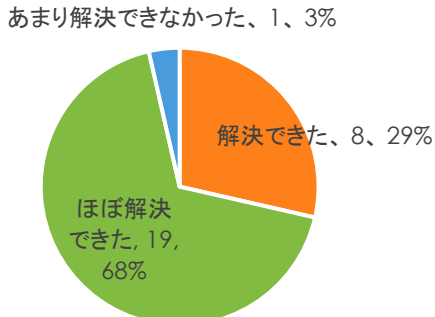
教員経験年数



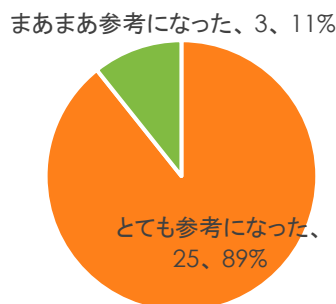
年齢



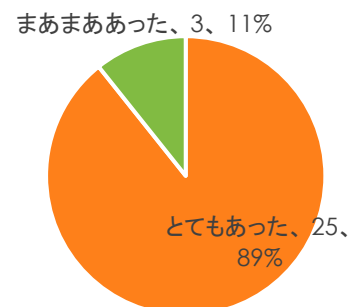
課題は解決
できましたか？



講義は参考に
になりましたか？



新たな学びが
ありましたか？



研修会参加者アンケート集計結果 参加者28名

研修会および研修会開催方法等についてのご意見・ご感想(一部抜粋)

課題には共通する部分が多く、意見交換ののちに講義を受け、さらに意見交換をするという順序で、考えを整理し、具体的な行動を起していけると感じました。

実習指導の課題解決の糸口を探すだけでなく、多数の先生方のお話を聞くことで、同じようなことで悩んでいることが自分だけでないのだと感じることができました。とてもためになりました。

臨床現場と教育現場のメンバーが混ざったグループはとても有効でした。まだまだ話したりない感じはしましたが、非常に充実したグループワークでした。

少人数でのグループワークだったので進めやすかった。グループ課題のまとめ資料(Word)が参加者に提供されるとより良いと思います。

同じグループの方と1日ディスカッションを行うことができたので、どんどん話す内容が深まっていったと感じました。

他の参加者とのディスカッションを取り入れていただいたのは、他の方と課題が共有できたのはよかった。しかしその一方、ファシリテーターの先生が話しすぎることで、自分の課題を発表することや意見をいうにも、ディスカッションというよりは、求められる内容しか話せず、参加者同士において壁があつく、あまり深いディスカッションになりづらかった。あくまでもファシリテーターの方が司会進行せず話をきく、もしくはグループディスカッションに入らない方がよかったと思いました。教育指導経験の浅いもの同士もう少し具体的な内容をあげながら抽象化していくのかと思ひ話し合いを楽しみにしていたが、ただファシリテーターの先生の教育観にそった授業をきいたような感じでした。

ファシリテーターの先生のお陰で様々な意見が出たが、考えがまとまりとても良かった。長年の看護師経験から学生を見てしまい失敗したこともあったが、そうではなく学生という立場を踏まえた関わりの大切さを知り、次年度の実習指導にぜひ活かしていきたいと思いました。不安が少し払拭しました。

松田先生のご講義を拝聴し、新たな学びが多くありました。また、自分のこれまでの実践がこれで良かったんだと思えることができました。

年々、指導に難しさを感じる学生が増えていることを実感していました。松田先生からご助言をいただき、どこに難しさを感じているのかをまず整理することと、その学生の個人的な問題と実習指導を区別することが重要であると学びました。明日からの実習指導に活用したいと思います。

Zoomではありましたが、事前に丁寧にご指示いただいていたことで、スムーズに研修に参加することができました。また、グループワークでも対面時のように活発に意見交換を行うことができました。

Zoomでの研修は初めてで緊張してしまいましたが、ファシリテーターの栗原先生が上手く誘導してくださり、皆様と笑顔を交え話しをすることができ、コロナ禍ならではの学びと出会いに参加して本当に良かったです。

事前課題のご提示をもう少し早めにして頂けると、自身の課題の振り返りが深められたように感じます。

基礎編だけでなく、応用編も開催していただきたいです。

臨床経験が圧倒的に長く、教職が短い私にとって、理論と臨床の看護現象、理論と教育現象を、アカデミックに考える機会は大変貴重でありがたい限りです。また、看護現象を理解するための教育方法が事例を通して意見交換ができるような研修、失敗事例を多く集めそこから考える教育方法などの研修があればまた参加します。